

# 2024 中山夏まつり



「今年も楽しい！来年も続けて！」などの声がかかりました。

「今年は食べ物がたくさんあってうれしい！」

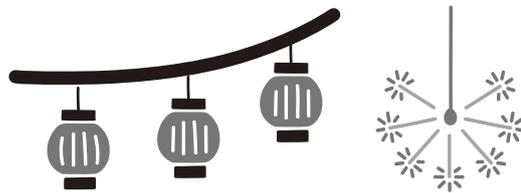
夕方5時にまつりはスタート。焼きそばや、フランクフルトなど飲食ブースの各種団体の皆さんは前日から準備に追われました。当日は心配された夕立もなく、たくさんの方の笑い声が響きました。

昼過ぎから地域づくり協議会・活性化部会員に加え、中山地区から明善中学校に通う生徒もお手伝いに来てくれて、会場準備に協力してもらいました。

8月9日(金)開催された「2024中山夏まつり」。



9月1日現在の中山	
世帯数	1,374
人口	3,086
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	



# 私のお盆



松本平とに広がる  
晴れたら  
見えるア  
ルプスの  
展望を満  
喫してい  
ます。

親子がボールで遊んだり、子どもがトンボを追いかけている。  
もう少し歩くと樹木式埋蔵場についた。「迎えに来たよ」と声をかけ、目の前

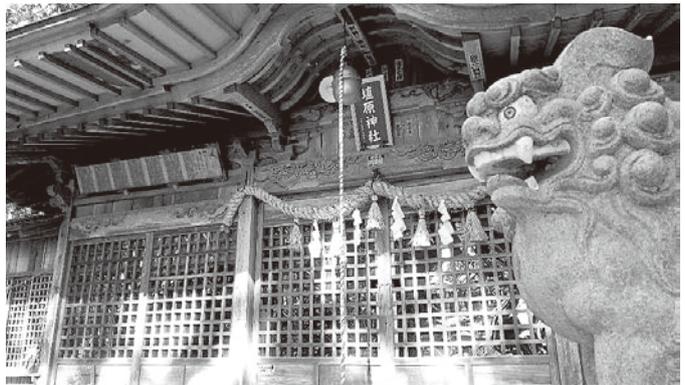
さらに登って中山霊園入口の花店で花を買い、マレットゴルフ場横の駐車場に車を停める。  
歩道をセミの声聞きながら行くと、芝生の広場に出た。

が、美しいハスの花が咲いているのでしばし楽しむ。



## 知っていますか、なかやまおすすめスポット

### 「夏の埴原神社境内」



「夏の」と季節限定したのは目だけではなく、耳にもおすすめの場所だからです。

近くを通りかかった時のこと。埴原神社は境内のすぐそばまで車で入れる場所があり、ドアを開けた途端、頭

上からシャワーのように降り注ぐセミの声に圧倒されました。「蝉時雨」とはこういうことを言うのかと思った次第です。

のだそうですが、人間にとっては多少うっとうしく感じても、セミにとっては「未来へつないでいく命」の鳴き声なのでしょう。

この号が発行される頃にはセミの声も遠くなっているのですが、興味のある方は来年の夏、埴原神社のそばを通りかかる事があつたら、参拝がてら訪れてみてはいかがでしょうか。



鳴くのは雄のセミで、雌を呼ぶために鳴く



このまま、枯れずにもつと成長したら盆栽になるかな!? って思いつつ、楽しみながら育てています。

しかし、外の日が当たる場所に変えたところ、ついに芽が出ました。

やっばり、おてんとうさまの力は凄いなあ〜って改めて思いました。

それから2年になります。それが、すくすく育っています。

半信半疑で購入し、種を蒔いてみました。

最初は家の中で育てていたこともあり、なかなか芽が出ず、諦めかけた時もありました。



なにか育ててみようと思

い、ネットショップで探

している、「黒松を種から

育てる栽培セット」を見つ

け

ました。

最初

は家

の中

で育

てい

た

こと

もあ

り、

なか

なか

か芽

が出

ず、

諦め

かけ

た時

もあ

りま

した